

エコアクション21

環境経営活動レポート

第19号（令和5年度）

対象期間

2023（令和05）年10月01日から
2024（令和06）年09月30日まで



令和5年度勝間田川護岸工事

発行日

令和06年11月01日

株式会社

川崎建設

目 次

	項 目	頁
1 .	組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）	1
2 .	対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	2
3 .	環境経営方針	3
4 .	環境経営目標	4
5 .	環境経営計画	5
6 .	環境経営計画に基づき実施した取組内容(実施体制含む)、環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6 ~ 8
7 .	環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画（環境経営活動の実施状況）	9 ~ 17
8 .	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無	18
9 .	代表者による全体評価と見直し・指示	19

1. 組織の概要（事務所名、所在地、事業の概要、事業規模等）

事業所名 株式会社 川崎建設

代表者 代表取締役 木村昌樹

所在地 本社 静岡県牧之原市静波 3 4 5 0 - 1
倉庫 静岡県榛原郡吉田町住吉 4 2 7 1 - 1
資機材置場 静岡県榛原郡吉田町住吉 4 4 9 2 - 1

連絡先 T E L 0 5 4 8 - 2 2 - 6 2 1 2

F A X 0 5 4 8 - 2 2 - 6 7 1 7

環境管理責任者 木村一馬

事務局・担当者 木村一馬

事業内容 特定建設業 静岡県知事許可（特 - 4）第 1 2 1 5 6 号
土木工事業 とび・土工工事業 舗装工事業

産業廃棄物収集運搬業許可 静岡県 第02201117479号

事業規模 資本金 2 0 0 0 万円

設立（創業）年月日 昭和 4 3 年 0 5 月 0 9 日

売上高 1 2 1 百万円

	本社	倉庫	資機材置場	合計
従業員	7名	0名	0名	7名
延べ床面積等	59m ²	372m ²	1490m ²	1921m ²

２．対象範囲（認証・登録範囲）レポートの対象期間及び発行日

認証・登録の対象活動範囲

- ・ 特定建設作業における全範囲（全組織・全活動）
- ・ 産業廃棄物収集運搬作業（自社運搬のみ）
- ・ 本社、倉庫、資機材置場及びすべての工事現場

エコアクション 2.1 登録認証

登録番号	0 0 0 1 8 4 0
初回登録日	2 0 0 7 年 0 9 月 1 3 日
更新登録日	2 0 2 3 年 0 9 月 1 3 日
有効期限	2 0 2 5 年 0 9 月 1 2 日

環境活動レポート対象期間

2 0 2 3 年 1 0 月 0 1 日 から 2 0 2 4 年 0 9 月 3 0 日まで
(2 0 2 4 年 1 1 月 0 1 日発行)

3．環境経営方針

環境経営理念

私たちは土木建設工事をはじめとする事業活動を進めていくうえで、地球環境の保全を重要な経営課題であると認識し、全社員一丸となり事業活動のあらゆる面で積極的に自然環境への負担軽減に取り組み、継続的に環境経営システムの構築・運用・改善に努め持続可能な社会づくりを目指します。

環境経営方針

- 1．環境に関する法・規制及びその他の要求事項を遵守する。
- 2．創意工夫等を実行し、省エネ化により二酸化炭素排出量削減に努める。
- 3．廃棄物の発生抑制に努め、建設副産物のリサイクル率の向上に努める。
- 4．環境に配慮した工法等の選択により、環境負荷の少ない工事現場を目指す。
- 5．再生資源の利用、環境配慮型製品の積極的使用に努める。
- 6．地域や関係団体の環境活動に積極的に参加する。

制定日 2007年01月06日

改定2 2019年10月03日

株式会社川崎建設

代表取締役 木村 昌樹

4.環境経営目標

項目	単位	基準年 H28年	R05年度		R06年度		R07年度		R08年度	
		基準値	目標値		目標値		目標値		目標値	
全社のCO ₂ 排出削減	kg-CO ₂	78,376	73,673	-6%	72,890	-7%	72,106	-8%	71,322	-9%
事務所のCO ₂ 排出削減	kg-CO ₂	1,959	1,841	-6%	1,802	-7%	1,802	-8%	1,783	-9%
電気	kwh	3,321	3,122	-6%	3,055	-7%	3,055	-8%	3,022	-9%
ガソリン	L	110	103	-6%	101	-7%	101	-8%	100	-9%
現場のCO ₂ 排出削減	kg-CO ₂	76,417	71,832	-6%	70,304	-7%	70,304	-8%	69,539	-9%
電気	kwh	12,710	11,947	-6%	11,693	-7%	11,693	-8%	11,566	-9%
ガソリン	L	4,926	4,630	-6%	4,532	-7%	4,532	-8%	4,483	-9%
軽油	L	22,605	21,249	-6%	20,797	-7%	20,797	-8%	20,571	-9%
特定建設資材のリサイクル促進	リサイクル率	100	100		100		100		100	
産業廃棄物のリサイクル促進	リサイクル率	99.9	95.0		95.0		95.0		95.0	
環境に配慮した工法・取組	件	1	1		1		1		1	
地域社会貢献活動の実施	件	1	1		1		1		1	

- ・電力のCO₂排出量は、平成29年中部電力調整後排出係数0.472kg-CO₂/kwhとする。
- ・産業廃棄物に関しては、工事量・工事内容により排出量の増減があるため、リサイクル率95%を目標とする。
- ・グリーン購入については事務用品の購入についての取組を昨年まで行ってきた、継続的に実績を上げてきていたため数値目標から除外した。事務用品のグリーン購入は引き続き行っていく。
- ・水資源については、平成21年度まで環境目標の設定・実績の集計を実施し、成果が得られたことと、使用量が非常に少ないため、使用量の把握のみとし、平成23年度から維持活動に移行している。
- ・灯油の使用は事務所・現場ともに使用実績がないため対象項目から除外する。
- ・基準年を平成28年度実績とし、翌年以降1%ずつの削減を環境目標値とする。

作成日 2022年10月01日
作成者 木村一馬

５．環境経営計画（半期ごとの取組結果の評価を含む）

全社の環境目標	基準年対比-5%のCO2排出量の削減					
	産業廃棄物の適正管理・リサイクル率の向上					
	環境に配慮した工法の選定					
	社会貢献活動への参加					
半期（3月末）における活動状況・達成状況を確認。必要に応じて是正・改善指示を行う。					半期チェック	
	実施項目	実施内容	スケジュール	前期	後期	
CO2排出量の削減						
	使用電気量	OA機器管理	パソコンおよび周辺機器の節電	通年	○	○
			複合機の節電	通年	○	○
					○	○
使用燃料の削減	照明管理	事務所照明の節電	通年	○	○	
		倉庫照明の節電		○	○	
	冷暖房管理	空調の設定温度管理 夏28 / 冬20	暖・冷房使用開始時に確認	○	○	
		ブラインド・カーテン等の効率的利用	空調使用期間中随時	○	○	
		セラミックヒーター等の使用	事務所での個人作業時	○	○	
	現場電気管理	発電機の効率的利用	現場使用時	○	○	
		仮設商用電力の積極的利用	現場仮設電力使用時	○	○	
				○	○	
	車両管理	エコ運転の励行	随時	○	○	
		アイドリングストップの徹底	随時	○	○	
		効率的なルートの選択	作業現場が変わる毎	○	○	
		余分な荷物は降ろす	出発前確認	○	○	
	建設機械管理	使用時以外のアイドリングストップ	現場での重機作業時	○	○	
		効率的な重機の選択	現場開始前・施工中	○	○	
		定期点検の実施	随時	○	○	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物管理	ゴミの分別収集	随時	○	○	
		ゴミの減量化推進	随時	○	○	
		社内資料の裏紙利用促進	随時	○	○	
	産業廃棄物管理	As殻・Co殻・木くずの再資源化		○	○	
		電子マニフェストでの適正管理	産業廃棄物排出時	○	○	
		混合廃棄物の減量化	工事現場ごと随時	○	○	
環境に配慮した工法	工法の提案	環境に配慮した工法の提案・実施	工事現場ごと随時	○	○	
		再生材料の積極的利用	工事現場ごと随時	○	○	
		無駄を省いた工法の選択・実施	工事現場ごと随時	○	○	
		熱中症対策の強化	夏季の工事現場	○	○	
地域貢献	社会貢献活動	地域貢献活動への積極的参加	通年	○	○	
		現場周辺での美化活動実施	工事現場ごと随時	○	○	

・半期チェックについて ○：達成状況 良好 ：達成状況 要観察 ×：改善が必要

・計画・責任・担当者は、実施体制表による。

作成日 2022年10月01日

作成者 木村一馬

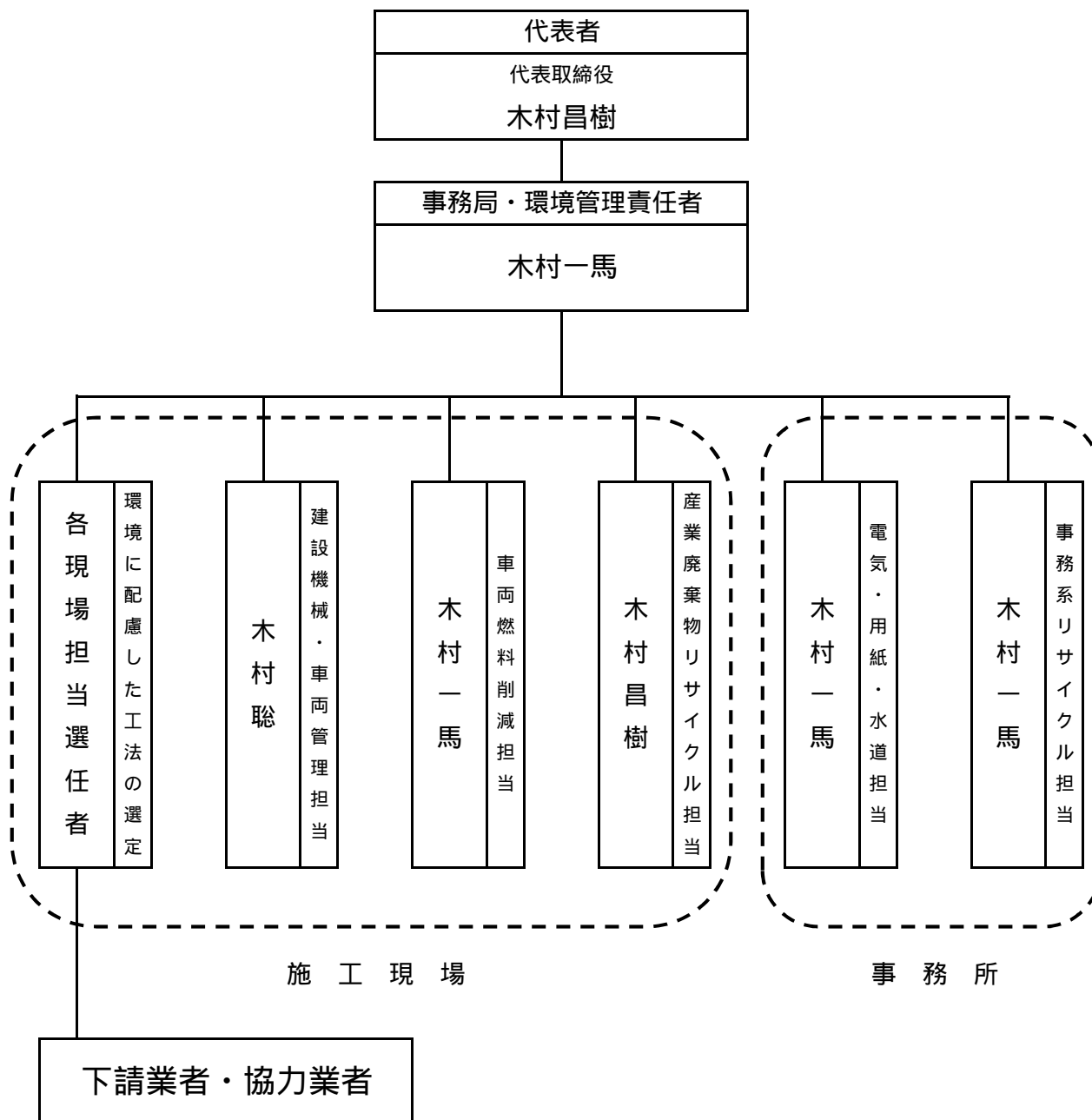
6．環境経営計画に基づき実施した取組内容（実施体制を含む）

環境経営組織図及び役割・責任・権限表（実施体制）

環境経営組織図

制定日 2007年01月06日

改定2 2018年10月01日



役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任の任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画・環境経営レポートの承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・実施体制の構築
環境管理 責任者	・環境経営システムの構築・実施・管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
	・環境教育の企画・運営及び資料作成、配布
事務局	・環境管理責任者の補佐
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画の原案作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成・公開
各担当者	・各担当における環境経営方針の周知
	・各担当における従業員に対する教育訓練の実施
	・各担当に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・想定される事故及び緊急事態への対応手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と、環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

実施した取組内容

- ・ 事務所 O A 機器の必要時以外の電源 O F F
- ・ 現場での建設機械の軽油使用量の削減
- ・ 現場での発動発電機の使用を減らし、仮設商用電力の積極的利用

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

項目	単位	基準年 H28年	R 5年度 目標値		R 5年度 実績値		取組結果	
		基準値	目標	増減	実績	増減	評価	達成率 (%)
全社のCO2排出削減	kg-CO2	78,376	73,673	-6%	37,502	-49.1%	○	196.5
事務所のCO2排出削減	kg-CO2	1,959	1,841	-6%	1,617	-12.2%	○	113.9
電気	kwh	3,321	3,122	-6%	3,100	-0.7%	○	100.7
ガソリン	L	110	103	-6%	66	-35.6%	○	155.4
現場のCO2排出削減	kg-CO2	76,417	71,832	-6%	35,885	-50.0%	○	200.2
電気	kwh	12,710	11,947	-6%	417	-96.5%	○	2865
ガソリン	L	4,926	4,630	-6%	3,252	-29.8%	○	142.4
軽油	L	22,605	21,249	-6%	10,909	-48.7%	○	194.8
特定建設資材のリサイクル促進	リサイクル率	100	100		100		○	100.0
産業廃棄物のリサイクル促進	リサイクル率	99.9	95		97.7		○	102.8
環境に配慮した工法	件	1	1		1		○	100.0
地域社会貢献活動の実施	件	1	1		1		○	100.0

備考

・取組結果の評価については、達成率100%以上 = ○ 99～90% = 90%未満 = × として評価する。

・環境目標の基準値はH28年度の数値を基準とする。

・水資源については、H21年度まで実施し、成果が得られたことと、使用量が非常に少ないため量の把握のみとし、維持活動に移行している。

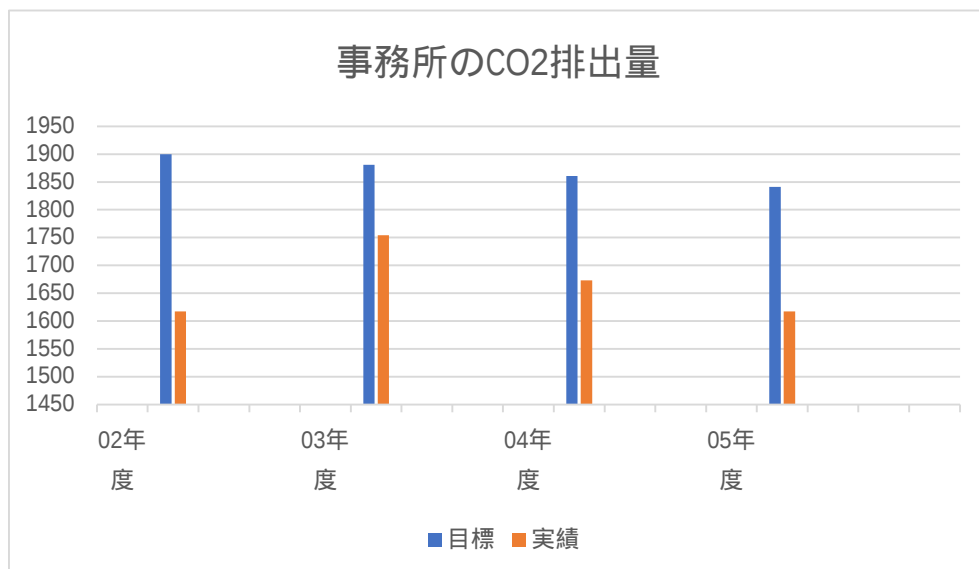
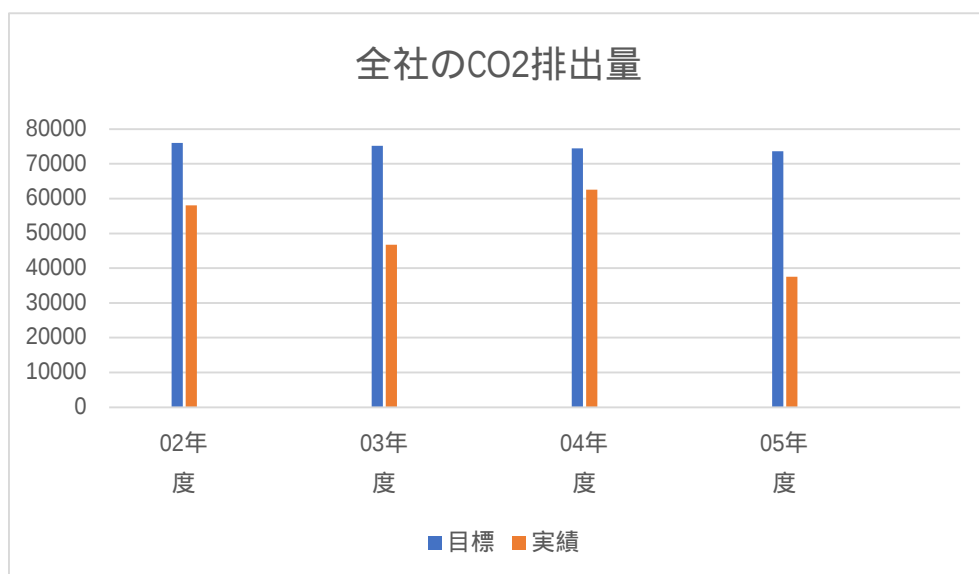
・グリーン購入はH29年度まで実施し、成果が得られたため、維持活動に移行している。

・電力のCO2排出量は、平成29年中部電力調整後排出係数0.472kg-CO2/kwhとする。

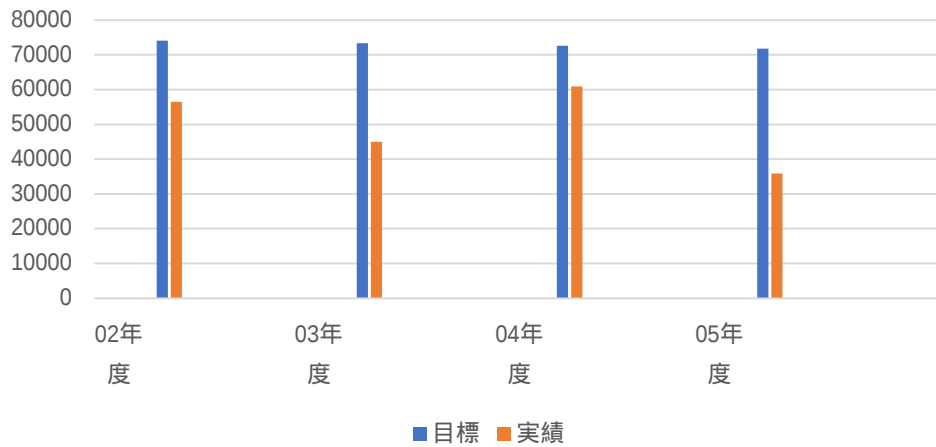
・本年度の目標値を（A）、実績値を（B）とすると、 $\text{増減（％）} = (1 - A/B) \times 100$
 $\text{達成率} = A/B \times 100$

過去4年間の実績

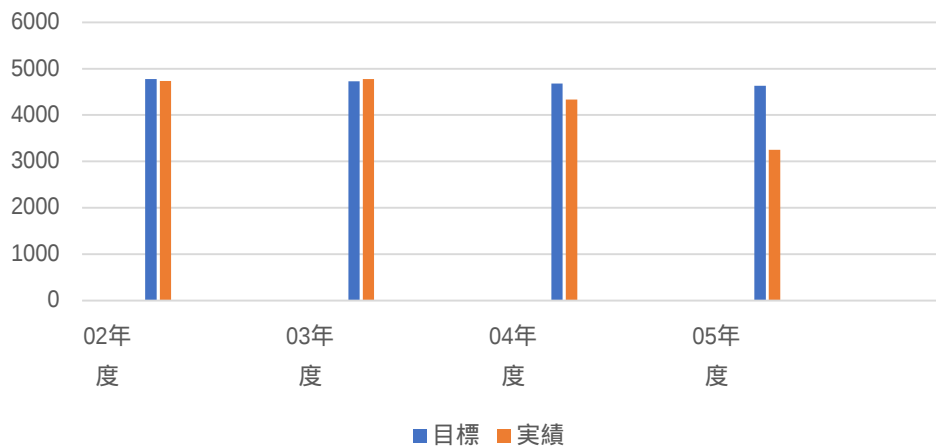
	単位		02年度	03年度	04年度	05年度
全社のCO2排出量	kg-CO2	目標	76025	75241	74457	73673
		実績	58091	46754	62570	37502
事務所のCO2排出量	kg-CO2	目標	1900	1881	1861	1841
		実績	1617	1754	1673	1617
現場のCO2排出量	kg-CO2	目標	74124	73360	72596	71832
		実績	56475	45000	60897	35885
現場のガソリン使用量	L	目標	4778	4729	4680	4630
		実績	4736	4778	4338	3252
現場の軽油使用量	L	目標	21927	21701	21475	21249
		実績	17038	12516	19141	10909



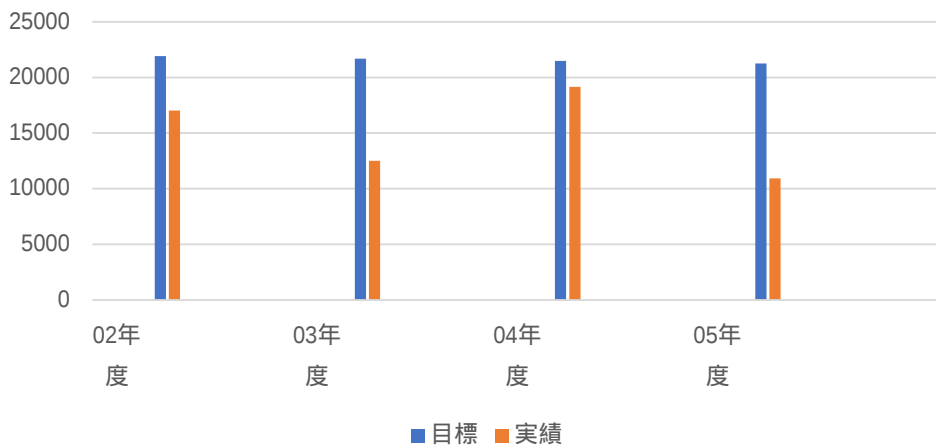
現場のCO2排出量



現場のガソリン使用量



現場の軽油使用量



取組結果とその評価並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

全社のCO2排出量削減

基準年対比6%のCO2排出量の削減	取組結果	○	達成率	196.5%
-------------------	------	---	-----	--------

評価：全社のCO2排出量の削減においては目標達成ができ、継続的に活動を行っていく。

取組	活動評価	次年度の取組
基準年対比6%のCO2排出量の削減	○	基準年対比7%のCO2排出量の削減
産業廃棄物の適正管理・リサイクル率の向上	○	リサイクル率100%を目指す
環境に配慮した工法・取組の選定	○	活動継続
社会貢献活動への参加	○	活動継続

事務所のCO2排出量削減

基準年対比6%のCO2排出量の削減	取組結果	○	達成率	113.9%
-------------------	------	---	-----	--------

評価：目標達成できた。

取組	活動評価	次年度の取組
OA機器管理	○	基準年対比6%のCO2排出量の削減
照明機器管理	○	こまめなスイッチOFFの実践
冷暖房の使用管理	○	活動継続

現場での使用燃料の削減

使用ガソリン基準年対比6%の削減	取組結果	○	達成率	142.4%
使用軽油基準年対比6%の削減	取組結果	○	達成率	194.8%

評価：使用軽油の大幅な削減を達成することができた。

取組	活動評価	次年度の取組
車両管理（アイドリングストップ）	○	活動継続
車両管理（不要荷物を載せたまま運転しない）	○	活動継続
建設機械管理（アイドリングストップ）	○	活動継続
建設機械管理（定期点検の実施）	○	活動継続

廃棄物排出量の削減

リサイクル率100%を目指す	取組結果	○	達成率	102.8%
----------------	------	---	-----	--------

評価：産業廃棄物のリサイクル率の目標達成ができた。

取組	活動評価	次年度の取組
一般廃棄物管理	○	活動継続
産業廃棄物管理	○	活動継続

環境に配慮した工法・取組

環境に配慮した工法・取組の提案	取組結果	○	達成率	100%
-----------------	------	---	-----	------

評価：環境負荷の少ない工法の提案によって、環境に配慮した工事ができた。

具体的な取組内容はこのレポートの事例写真を参照。

取組	活動評価	次年度の取組
環境に配慮した工法・取組の提案・実施	○	活動継続
再生材料の積極的利用	○	活動継続
無駄を省いた工法の実施	○	活動継続
熱中症対策の強化	○	活動継続

地域貢献

地域貢献活動の実施	取組結果	○	達成率	100%
-----------	------	---	-----	------

評価：業界団体のボランティア活動に積極的に参加できた。

具体的な取組内容はこのレポートの事例写真を参照。

取組	活動評価	次年度の取組
地域貢献活動への積極的参加	○	活動継続
現場周辺の美化活動の実施	○	活動継続

環境経営活動の実施状況



現地測量にドローンの空撮測量を実施



環境に配慮した工法の選択
水中ポンプの吸込み口に汚濁防止ヤシマットの設置



無駄を省いた工法の選択
河川掘削工事の仮締切盛土材に流用土を使用して施工した



現場周辺の美化活動の実施
(除草・清掃)



事務所での環境活動の教育実施状況



・牧之原市と業界団体合同で道路啓
開訓練を実施

次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度の全社の 環境経営目標	基準年対比7%のCO2排出量の削減
	産業廃棄物の適正管理・リサイクル率の向上
	環境に配慮した工法の選定
	社会貢献活動への参加

詳細は 4 .環境経営目標を参照

環境経営計画	実施項目	実施内容	スケジュール
CO2排出量の削減 使用電気量			
	OA機器管理	パソコンおよび周辺機器の節電	通年
		複合機の節電	通年
	照明管理	事務所照明の節電	通年
		倉庫照明の節電	通年
	冷暖房管理	空調の設定温度管理 夏28 /冬20	暖房・冷房使用開始時に確認
		ブラインド・カーテン等の効率的利用	空調使用期間中随時
		セラミックヒーター等の使用	事務所での個人作業時
	現場使用電気管理	発電機の効率的利用	現場使用時
		仮設商用電力の積極的利用	現場仮設電力使用時
	車両管理	エコ運転の励行	随時
		アイドリングストップの徹底	随時
		効率的なルートの選択	作業現場が変わる毎
		余分な荷物は降ろす	出発前確認
	建設機械管理	使用時以外のアイドリングストップ	現場での重機作業時
使用燃料の削減		効率的な重機の選択	現場開始前・施工中
		定期点検の実施	随時
	一般廃棄物管理	ゴミの分別収集	随時
		ゴミの減量化推進	随時
		社内資料の裏紙利用促進	随時
	産業廃棄物管理	As殻・Co殻・木くずの再資源化	
		電子マニフェストでの適正管理	産業廃棄物排出時
		混合廃棄物の減量化	工事現場ごと随時
環境に配慮した工法	工法の提案	環境に配慮した工法の提案・実施	工事現場ごと随時
		再生材料の積極的利用	工事現場ごと随時
		無駄を省いた工法の選択・実施	工事現場ごと随時
		熱中症対策の強化	夏季の工事現場
地域貢献	社会貢献活動	地域貢献活動への積極的参加	通年
		現場周辺での美化活動実施	工事現場ごと随時

作成日 2023年09月30日

作成者 木村一馬

8 . 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

遵守状況確認日

2024年年10月01日

遵守状況確認者

木村一馬

法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通り

適用される法規性等			適用される事項・内容	遵守状況
義務	法律	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬業者及び処分業者との委託契約	○
			マニフェストの管理・保管	
			委託契約書の保管（5年間）	
			電子マニフェストの登録（3日以内）	
		建設リサイクル法	分別解体と再資源化の実施・報告・記録作成	○
			対象工事の届出	
		騒音規制法	騒音規制基準の遵守	○
			対象特定建設作業の届出	○
		振動規制法	振動規制基準の遵守	○
			対象特定建設作業の届出	○
		消防法	少量危険物の数量（ガソリン・軽油）	○
		自動車リサイクル法	車両購入時に適切に処理	○
		オフロード法	建設機械の排出ガス規制	○
		フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検（目視確認、3ヵ月毎）	○
責務	条例	静岡県産業廃棄物の適正な処分に関する条例	産業廃棄物の適正な処理	○
			管理責任者の設置	
			実地確認とその記録の保持（年1回、5年保存）	
	要綱	建設副産物適正処理推進要綱	対象建設工事の計画書・報告書の作成、報告	○
	法令	環境基本法	廃棄物の適正な処理及び環境負荷の低減	○
		資源有効利用促進法	指定副産物等の使用促進措置	○
	条例	牧之原市環境基本条例	第3条 基本理念	○
			第6条 事業者の責務	
			第8条 協同の責務	

環境関連規則等の遵守状況の評価の結果、環境関連規制等は遵守されています。

環境関連法規への違反はありません。

関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

訴訟等過去3年間はありません。

9．代表者による全体評価と見直し・指示

○事務所における取組に対して

事務所の電気使用について、昨年消費電力の少ないエアコンへの交換や事務所の屋根への遮熱塗料の塗布など行い対策をとってきたが、近年の気候変動に伴い電気使用量の多いエアコンの使用抑制は困難になってきている。事務所での電気使用量実績は、達成率が100.7%と目標は達成できたが低い結果となっており、今後も気温上昇が続けば、目標値の修正が必要と思われる。今後も事務所のCO2排出削減に向け継続的に対策をとっていきたい。

○工事現場における取組に対して

今期は、現場での軽油使用量を大幅に削減できた。これにより現場でのCO2排出量も大幅に削減できた。工事量や工事内容によって大きく左右されるが、各現場での従業員の取組意識の向上も大きな要因だと思われる。今後も環境負荷が小さい車両、建設機械へのシフトを段階的に進めていきたい。また、工事現場にて環境対策として環境負荷の少ない工法等、積極的に取り入れられるよう情報収集にも努めたい。

○全体を通して

今期の達成率をみるとすべての項目で達成できている。工事量、工事内容によって左右される場合もあるが、継続して取り組んでいきたい。自社におけるCO2排出量は事務所においては電気、現場においては軽油及びガソリンが大きなウエイトを占めている。今後もこの点に注目して取組・改善を行っていきたい。

○見直し・指示

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり	方針継続
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり	来期は基準年比7%削減
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり	体制継続

2024年10月31日

株式会社 川崎建設

代表取締役 木村 昌樹